

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	No.号外2 2018年 10月24日	各職域課題の具体的改善のためにも、県職労に実態や課題をお伝えください。ともに改善に向け頑張ろう
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県管内 岩手県職員労働組合		

2018評協議会秋闘② 10.23保健所関係・保健福祉企画室長交渉

保健師・栄養士は計画的な採用示す

人員確保 保健師5人程度（経験者採用もあり）・栄養士2人採用方向示す

勤務労働条件 精神障がい者通報の改善は県警と連携強化

県職労保健所協議会は、各保健所における意見交換を経て、来年度の組織・定数要求や職場環境改善等を柱とする、保健福祉部長あて要請書を作成し、10月23日に高橋保健福祉企画室長に手交のうえ、基本姿勢を質すべく交渉を行った。交渉には、職場代表も参加し、実態を訴えた。結果は次のとおり。



要請書・寄書を手交（保健所課題）

【交渉結果】**保健師確保**に関し、「保健所は、課長を含めて2018年度は55人を確保してきており、来年度も新採用者5人程度の他に経験者を若干名応募する」、「事務職の要望は、公所や地域の状況に応じて検討」との基本姿勢を引き出した。**保健師の勤務環境の改善**は「精神障がい者対応に係る警察官からの通報に関し、ガイドラインの作成を進めている。**県警との連携や通報の対応についても改善を進めている**」との姿勢を示した。



要請書を手交（栄養士課題）

保健所職員の労働安全衛生は「二次的な感染防止のためにしっかりと対応する必要。本年10月から総務事務センター主催で麻疹、風疹の予防接種も行っている。引き続きの対策を検討」との姿勢を示した。

栄養士確保は「健康事業は重要との認識から計画的に増員していく必要がある。来年度は2人の採用。各保健所複数配置をめざしたい」とした。保健師の人材育成策、公衆衛生医師の配置、栄養士の処遇改善、薬剤師の増員等の課題も訴え、改善を求めた。



回答する高橋室長

最後に、高橋室長から、「要請書には多岐にわたる事項を記載いただいた。要請は業務を進める観点での要請としていただいた。現場の状況を聞く機会は大変ありがたい。引き続きやり取りさせていただければと思う」とし、来年度以降も継続して課題共有し、改善の姿勢を示した。

県職労は継続して職場討論・要請書集約・交渉を進めていく（主な交渉結果は裏面）。

1 保健師の人員配置の基本的考え

(県 職 労) 不足している保健所には増員を要請。保健師の人員配置の在り方について、基本姿勢は。(保福室長) 2017年度54人、2018年度55人と確保を進めてきた。来年度も新採用者5人程度の他に経験者(主任級)を若干名応募することになっている。人事異動は、中堅層が少ないこと等を踏まえて人事の在り方を検討。事務職の要望は公所や地域の状況に応じて検討していく。

2 保健師の人材育成策

(県 職 労) 岩手県職員保健師育成方針が策定されており、計画的なキャリア要請を要請したい。(保福室長) 各保健所の協力を得て初任者研修等を実施しているほか、今年度は国立保健医療科学院の研修費用も措置している。若い人への指導は人員配置の中で経験を積ませることで対応している。。



実態を訴える交渉団(左: 渡淵さん、右: 菊池さん)

3 保健師等の勤務環境改善

(県 職 労) 精神障がい者の通報対応に当たり、深夜や土日休日の対応が必要となるが、平日夜間の対応をし、引き続き通常業務に従事せざるを得ない事案が生じており、職員負担が著しい。勤務配置の改善など、負担軽減策などの検討を。

(保福室長) 4月に厚生労働省主催の研修に係る伝達研修を県内4か所で県警との共催で警察署に対して実施。警察との連携マニュアルは今年度内に策定し、警察と連携していく。県警自体も課題意識があり、警察署に対する判断、保健所への相談について指導をしている。

4 保健所職員の労働安全衛生

(県 職 労) 感染症予防に必要な抗体検査・予防接種に関し公費負担で措置できるように要請したい。(保福室長) 二次的な感染防止のためにしっかり対応する必要がある。今年10月から総務事務センター主催で麻疹、風疹の予防接種も行っている。引き続き対策は進めていく。

5 栄養士の人材確保等

(県 職 労) 栄養士の年齢バランスを考慮すれば、今後も計画的な採用とベテランと新人との組み合わせの指導体制の継続が必要と考える。基本姿勢を伺いたい。

(保福室長) 基本的に複数配置を検討しており、健康事業は重要との認識から、栄養士の確保を考えている。計画的に増員していく必要があるが、来年度は2人の採用である。定年を迎える人の話があったが、退職までの若手育成できるようにしていく。育成方針は増員の中で進めていきたい。



実態を訴える互野栄養士

6 公衆衛生医師の配置など諸課題(上記交渉項目以外)

(県 職 労) 保健所の公衆衛生医師の配置も喫緊の課題であり、配置を要請したい。精神障がい者通報の対応が極めて深刻な問題で職場も疲弊。改善を。

(保福室長) 公衆衛生医師は採用に向けて努力する。精神障がい者の通報対応は、県警とやり取りをして改善するよう取り組んでいる。今後も負担軽減に向けて対応していきたい。